

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0525
施設名	明德保育園
施設所在地	東京都東大和市立野 2-3-7
法人名	社会福祉法人 明德福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自分の体

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・園庭に大型遊具などが無いので、室内でも十分に体を動かせる環境を用意することを心掛けている
- ・体を動かす遊びをする中で、自分の体の動かし方（協応動作）や体の傾きなどを体得し、自分たちで工夫して遊ぼうとする姿が見られていたため
- ・自分の体を自在に使い、達成感や挑戦する心を育てていきたいという思いから

2. 活動スケジュール

2026年9月～

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・ アネビー
- ・ ソフト（ウレタン）ブロック
- ・ バランスストーン
- ・ マット
- ・ 滑り止めシート
- ・ 平ゴム
- ・ スズランテープ
- ・ テーブル・棚
- ・ ダンボール

4. 探究活動の実践

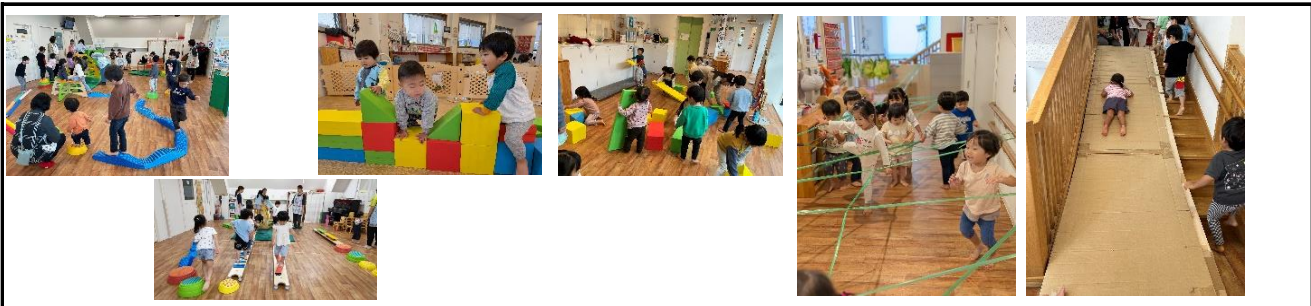
<活動の内容>

- ・よじ登る、下りる、くぐる、またぐ、渡る、ぶら下がる、バランスをとる、といった体の動きができるコーナーを用意した
- ・遊びのコーナーのひとつとして設定したり、なりきり遊びの一環として取り入れられるようにしてみたり、とその日によって年齢によって取り組みスタイルを変えて行っていた

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・すぐに挑戦して楽しむ、挑戦してみて難しさに気づき保育者に助けを求める
(途中退場する子もいた)
- ・コーナーの存在に気が付かなかったり、気づいてもすぐに来ないという姿もあった
(友だちに誘われたり、友だちの姿に触発されて参加、など)
- ・異年齢での取り組みでは、上の子の遊び方の真似をしたり、真似されていることを意識して遊ぶ姿も見られた



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・アネビーでは、個々の体の動かし方の得意不得意にも目を向け、様子に合わせた内容にすることで成長を促したりその成長を保育士間で共有することが出来た。
- ・くり返し遊ぶ中で子どもたちの集中力が上がり、体の使い方も上達したのを感じた。
- ・ウレタンブロックでは、体の使い方以外に平面から立体への空間認知力が上がったり、イメージや体の使い方を伝え合ったりする姿が見られた。
- ・一人ひとりが楽しめるようになり、そのうち他児の動きを見たり危険を察知するようになるなど、回を重ねる度に新しい成長が見られた。
- ・支援が必要な子にも楽しめる内容が多く、一緒の空間で長時間楽しめるよい機会になった。